

学年	高校 1 年	教科	国語	科目	言語文化	単位数	3
教科書名	精選言語文化（第一学習社）			副教材名	精説漢文改訂版（いっずな書店） 読んで見て覚える重要古語単語 315 三訂版 （桐原書店） 新精選古典文法改訂版（東京書籍） 基本セミナー漢文入門（浜島書店） 古典文法習得のための助動詞マスターノート（数研出版）		
コース・クラス	選抜・N進						

I. 目標

古典としての古文と漢文を読む能力を身に付けることを通して、ものの見方、感じ方、考え方を広くさせ、古典に関心を持たせる。

II. 授業のねらい

古典に表れているさまざまなものの見方、感じ方、考え方を、古典についての解説や随筆なども参考にしながら、的確に読み取らせる。これを通して、思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育むことにより、人間としての資質の形成をねらいとする。本文内容の正確な理解、作品の背景、漢詩漢文が日本に与えた影響などを学習させる。

III. 授業の進め方

- 1 文法理解、文章内容の読解を主とし、ICT 授業を展開し学習を進める。
- 2 文法事項や表現技法は、副教材やプリントを用いながら学習していく。
- 3 ipad で辞書や Classi ノートを活用し、視覚的要素も利用しながら理解を深める。

IV. 学習上の留意点

- 1 教科書の新しい単元に入る際は、予習として語句の意味調べや作品の通読を行うこと。
- 2 古語単語小テストの年間計画を確認し、事前に学習しておくこと。

V. 定期試験

- | | | | |
|------|------|---|------------------------------|
| 1 学期 | 中間試験 | ： | 用言の活用、『宇治拾遺物語』、初見問題、古文単語 |
| 1 学期 | 期末試験 | ： | 用言の活用、『徒然草』、漢文基礎知識、初見問題、古文単語 |
| 2 学期 | 中間試験 | ： | 助動詞の活用、『伊勢物語』、故事、初見問題、古文単語 |
| 2 学期 | 期末試験 | ： | 助動詞の活用、『土佐日記』、漢詩、初見問題、古文単語 |
| 3 学期 | 学年末 | ： | 初見演習問題、『枕草子』、史伝、初見問題、古文単語 |

VI. 評価の方法

- 1 定期試験・進研模試・スタディサプリ…授業内容を理解し、それを応用することができる。
- 2 小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。
- 3 提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	・歴史的仮名遣い、用言の活用	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・歴史的仮名遣い・用言 ・主語をおさえながら内容を理解し、作品の面白さがどこにあるのか考える。 ・漢文の基礎知識(返り点・送り仮名・書き下し文・置き字・再読文字・返読文字)を理解する。
	5	・『宇治拾遺物語』児のそら寝		
	6	・『精説 漢文』『漢文入門』 ・『徒然草』ある人、弓射ることを習ふに		
	7	・『新精選古典文法』 ・問題演習		
二学期	9	・『伊勢物語』東下り	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・助動詞の意味、活用、接続の知識を知る。 ・古文の読み方について理解する。 ・漢文句法を知る。 ・和歌の修辞法、漢詩の基礎知識を理解する。 ・問題演習に取り組み、問題の解き方を習得する。
	10	・『新精選古典文法』『助動詞マスターノート』 ・故事成語『戦国策』漁父之利		
	11	・『精説 漢文』『漢文入門』 ・『土佐日記』門出		
	12	・『新精選古典文法』『助動詞マスターノート』 ・漢詩 春暁、江雪、黄鶴楼、春望		
三学期	1	・問題演習	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・文法の知識を活かし、問題に取り組むことができる。 ・文学の背景を理解する。 ・学習した文法を総復習する。 ・問題演習に取り組み、問題の解き方を習得する。
	2	・『枕草子』中納言参りたまひて ・『新精選古典文法』『助動詞マスターノート』		
	3	・史伝 『十八史略』完璧 ・『精説 漢文』『漢文入門』		
	3	・問題演習		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。